

# 平成 30 年度 明祥中学校グランドデザイン

## 次代を生き抜く よりよい社会をつくるための生きる力

自分のよさや可能性を認識 あらゆる他者を価値ある存在として尊重  
多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手  
社会環境・雇用環境の変化 AI ではできない人の強み 既存の知識を新たな価値につなげる力  
よりよい社会と幸福な人生の創り手に  
《新学習指導要領より》

校訓 ○徳（自他を大切にし、社会につくす） ○知（自ら学び、確かな学力）  
○体（健康・たくましい気力と体力） ○労（感謝・奉仕の心・実践）

### ■ 教育目標

## 利他共生 「社会に役立つ 自己を高める」

自他の生命や人権を尊重し、よりよい生き方を目指して互いに高め合う生徒の育成

★★ 人を幸せにすることは、自分も幸せになること ★★

### ■ 教育活動の重点

#### 協働

- ・かかわり合って、気づき、高める（自主的・協働的な集団）
- ・誰かのためになる活動、喜び
- ・他者は価値ある存在

他者貢献は自己を高める

#### 命を大切に生きる

- ・自己有用感  
共感的人間関係  
自己決定力
- ・自己実現に向け、心を律し、やり抜く力
- ・自己受容⇔他者信頼  
⇔他者貢献

しなやかで折れない心

#### 考える

- ・「知識・技能をつなげ活用」「思考力、判断力、表現力の発揮」「学ぶ意義を実感 意欲」
- ・分かる、達成する喜び
- ・問題をとらえる力

将来につながる力

### ■ 実現のためのキーワード

- 生徒会活動・行事の充実  
団活動、油ヶ淵クリーン活動
- 地域とのボランティア活動  
地域社会の一員として
- 保護者・地域との情報共有  
顔の見えるつながり
- この子が光（特別支援教育）  
違いを認め共に育つ

- 素直・感謝・努力  
挨拶、感謝からのコミュニケーション
- セルフコントロール  
「われらは明中生」 QU テスト活用
- 外部・地域との緊密な連携  
ふれあい会議 健全育成会議
- 命を大切に  
道徳教育の充実

- 学習基盤の定着  
目標設定 主体的 やり抜く
- 目的を意識  
活動の意味を考え
- 新学習指導要領(2021)  
学び合い、高め合う教育活動
- 地域と学ぶ  
地域を自分ごととして

### ■ 経営方針

## よく見て つなげて 喜び合う

- ・生徒が仲間と共に高め合い、自己の努力や成長を実感し、自己有用感をもって生き生きと楽しく通える学校づくり
- ・教職員が学び続け、生徒に寄り添いながら目標に向かって協働・挑戦できる学校づくり
- ・家庭・地域と学校が信頼のもとに連携・協働し、共に生徒（地域人材）を育てることのできる学校づくり

★★ 中学校は人とかがわり合う中で生徒を大人へと成長させる場 ★★

#### ◇チーム明祥中

- ・生徒と喜び合える組織
- ・温かさと信頼のある組織
- ・学び続ける組織

#### ◇寄り添う

- ・信頼ある生徒理解
- ・「目」「手間」「心」をかける
- ・「眼聴耳視」背景、本質を見る

#### ◇カリキュラムマネジメント

- ・目標を共有し、教科をつなげる
- ・授業、行事をつなげて育てる
- ・キャリア教育

### ■ 教育活動の重点を支える学校体制

- 安心・安全な学校づくり 緊急時救急体制の徹底 定期的な施設、設備点検 防災体制の確立
- 保護者・地域との連携 生徒の情報共有(保護者会 家庭訪問 三者懇談 日々の緊密な連絡 等)  
学校の情報発信(学校・学年・学級通信等の発刊 授業や行事の公開 学校 HP 等)  
連携した取組(PTA 活動 資源回収 健全育成協議会 地域行事への参加 等)
- 教職員の資質能力向上 育成指標に基づく研修 謙虚に学び続ける 持続可能な働き方 信頼と誇りのある職務遂

### 社会に開かれた教育課程

★★ 今あるものをよく見て、目的を共有し、つなげ、みんな(生徒、教職員、地域・保護者)が喜び合える ★★